

## 平成29年度 千島学説研究会東京セミナー

—現代医療は病気を治しているか、如何なる道を歩めば治癒が可能か—

1、日 時 平成29年5月20日(土)午後1時～21日(日)午後5時  
・会員総会(理事会報告を中心に) 20日午後12時20分～12時40分

2、会 場 東京都豊島区医師会館4階 (親睦会・同室)  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-22-16

3、会 費 □会員 ・両日参加4000円 ・1日参加2500円  
□非会員 ・両日参加5000円 ・1日参加3000円  
□学生 ・両日参加2000円 ・1日参加1000円  
・恒例の第1日目の会員の皆様との語らいの場、懇親会は別途3000円お願いします。

参加申込みは予約制です。会員の皆様には事前にセミナーの案内と郵便振替用紙をお送りしますので、郵便振替をもって参加可能となります。非会員の方は、メール、TEL、FAXにてご連絡頂ければセミナーの案内と郵便振替用紙をお送りします。

尚、会場の都合上、定員は80名ですので、参加希望の方は早めに申し込みお願い致します。

4、主 催 千島学説研究会

・セミナー実行委員長 鈴木一策 (理事・哲学)  
実行副委員長 杉本徳仁 (理事・自然農法家) 稲垣実 (理事・食養家)  
一ノ瀬宏 (理事・鍼灸和友堂)

・セミナー学頭 衛藤公治 (理事・衛藤クリニック医院長)  
小松健治 (副代表理事・あうん健康庵庵主・医師)  
小島秀樹 (副代表理事・小島国際法律事務所代表・弁護士)  
酒向 猛 (理事・医師)

5、連絡先 千島学説研究会事務局 悴山房子 〒567-0001 大阪府茨木市安威2-24-13  
TEL&fax 072-643-8579 e-mail:tishima@live.jp  
千島学説研究会東京事務局 仁志天映 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘  
1-19-2,4-6-106 TEL&fax 045-902-2034 携帯 090-2378-7016  
e-mail:nishi- tenei@nexyzbb.ne.jp

6、会場案内図



## 千島学説東京セミナーのねらい

会員の皆様、如何、お過ごしでしたでしょうか。いつも思うのですが、11月に大阪セミナーを終えたと思ったら、また、東京セミナーがやってきました。早いものです。

ガンもそうですが、身体は病気を治そうと症状を呈するのです。病気を治そうと思うのでしたら、病気とは、いったい何か。病気は如何なる原因で起こるのか。今日の医学は西洋医学であり、この医学は如何なる基礎の上に立ち、どのような医療体系なのか。ここをしっかりと捉えなければならぬと思います。

例えば、『がんの「治癒」を目指した医療を』と題して、シカゴ大学医学部内科・外科教授の中村祐輔氏は、次のように語っています。『21世紀に入り、がん医療は急速に変化を遂げている。多くの分子標的治療薬の開発に始まり、最近の免疫療法の成果で、「延命」がゴールではなく、がん医療は、「治癒」を目指す時代となった。』（平成29年2月21日、産経新聞「正論」）と云います。本当にがん医療は治癒を目指す時代になったのでしょうか。何年も何年も医師たちは同じことを言い続け、画期的な医薬、医療技術の進化を褒め称えています。今だに、がんによる死亡者は増え続けているのです。

中村氏はこの数十年間でがんの治癒の目安とされる5年生存率は、飛躍的に改善されていると言います。確かに診断技術の発展は目覚ましいものがあります。ほんの微細ながんでも発見できるようになり、早期発見、早期治療の結果、5年生存率が改善されたと言いますが、これはあくまで5年生存率に過ぎません。病気の原因もわからず、解ろうともしない、症状のみを診て、化学薬剤（石油製品）で症状を消すことが、今の医学・医療なのです。

がんは、身体の汚れた血液を一箇所に集めて排毒する症状です。がんは血液の浄化装置とも言われています。ですから、よい血液を造り循環させればよいのです。千島先生のいう、『氣（心・精神）・血（食）・動（運動・新陳代謝）の調和』を具体的に図ることが重要なのです。

5年生存率について言えば、ステージ1にも満たないがんを治療し、5年生存率が飛躍的に向上したと喧伝していますが、がんは現代三大医療（がん切除、抗ガン剤投与、放射線照射）を受けずに、そのまま放置していても、がん三大医療を受けた人よりも4倍も長生きできるとの報告もあります。私たちは、事実、本当のことを知らなければなりません。

今セミナーでは、新たに3人の講師をお迎えします。

最初は、昨年11月の大阪セミナーで好評を得た、奇跡の療術師の異名をもつ柳原能婦子先生です。先生は我が子の病がいかなる医師にかかろうとも治癒することがないことを知り、自らの想いと母の手と執念にもたれた努力により、我が子を治癒させたのです。ご期待下さい！

二番目の講師は、あかざりえさんです。あかざさんは、京都の古民家で、自然に囲まれながら、のびのびと、腸内微生物に焦点を当て『発酵生活』を楽しんでいる方です。我が会のホープでもあります。

最終講演は、『愛工房』の伊藤好則氏にお願いしました。伊藤氏との出会いは、小松ご夫妻に誘われて、5年ほど前に木材乾燥装置によって、杉の持つ癒やす力の驚異さを体験しました。先日も、小松夫妻と、先生の娘さんとお孫さん二人と、私（仁志）と息子、威琉（タケル）とともに、木造4階建てのビルにお邪魔して、杉のもつ、偉大な力を体感しました。そういえば、ご神木の多くは、杉の木なのだと諭されました。人生は60代からが本番だ、何とも心強い伊藤氏の言葉です。

今セミナーでは、今、話題になっている、糖質ゼロ食事法。日清戦争での兵士の死者3万人。日露戦争での兵士の死者9万人。日露戦争では、その殆どが、ドイツ医学を学んだ森鷗外の脚気病原菌細菌説により、脚気で死亡したのです。今だに、病気、細菌・ウイルス説が克服されないことが病気が治癒できない最大の問題。また、竹炭による、結界（ご神域）のニュートリノの発生の偉大な治癒力なども、大いに討論し、私たちの知性を深めたいと思っております。

第1日目 5月20日(土)

第1部 セレモニー 13:00~13:10

総合司会挨拶 高尾壮二(血液循環療法) (3分)

開会の辞 鈴木一策 (3分)

代表挨拶 仁志天映 (3分)

第2部 基調講演 13:10~14:00  
『人は若返る—チベット体操と千島学説』 衛藤公治 (50分)

第2部 特別講演 14:00~15:00  
『我が子の病氣治癒を願い私の歩んだ道—たらちねの母—』 (60分)  
柳原能婦子

—休憩15:00~15:15—

第3部 会員報告 問題提起及び討議  
□ 『糖質ゼロ食事法を問う』 高尾壮二 15:15~15:55 (40分)  
この食事法の問題点ももれ聞く、討議を深めよう

□ 『竹炭よる結界(ご神域)におけるニュートリノなどの素粒子の発生の身体に及ぼす影響』—これでも治癒できない場合は何故か— 15:55~16:35 (40分)  
新野恵 (理事・サクセスアイ代表)

第4部 特別講演  
『食の生命 人の命』 その1 16:35~17:15 (40分)  
赤峰勝人 (会顧問 なずなの会)

—親睦会準備— 17:15~17:30

第5部 親睦会 17:30~19:10

・司会進行 小松伸子・高尾庄二、あかざえり、仁志天映  
・挨拶 増本勝久(副代表理事・ホワイトマックス代表)  
・乾杯音頭 小松健治  
・大いに語ろう 会員の相互交流  
・一発締め 稲垣実

◎ 自然食(少々魚も入ります) 銀河高原ビール、自然酒、各種お飲み物も用意します。

◎後片付け(19:10~19:30) 当会館ではゴミ処理ができませんので、大変申し訳ありませんが、ゴミ袋を用意しますので、各自お持ち帰り処分お願い致します。

◎まだ飲み足りない、語りが足りない方は、19:30分頃より、二次会を行います。

二次会の飲み処は例年通り、『魚や(ととや)』池袋店。TEL 050-3463-5930

第2日目 5月21日 午前10時より午後5時10分

受付開始 AM9:30より

総合司会 あかざえり  
(日本腸美人コンシエルジュ協会代表理事)

### 第1部 セレモニー

総合司会挨拶 総合司会 あかざえり (3分)

開会の辞 小島秀樹 (3分)

### 第2部 基調講演

□ 『現代の生命科学から見た千島学説』 酒向猛 10:10～11:00 (50分)

□ 『明治脚気論争にみる学理と医療のあり方について—軍医森鷗外の脚気細菌原因説の迷走を中心に—』 小島秀樹 11:00～11:50 (50分)

—昼食休憩(11:50～12:50)—

### 第3部 会員報告

□ 『千島学説実践報告—チェルノブイリ被ばく者へのボランティア治療Ⅱ—』  
大杉幸毅 (血液循環療法協会会長) 12:50～13:40 (50分)

□ 『微生物との共生、発酵学・腸美人食の最新エビデンス』 あかざえり  
13:40～14:30 (50分)

—休憩(14:30～14:45)—

□ 千島の『氣・血・動の調和』を【ナンパ】で極める—教育洗脳を解き、自然回帰—  
小松健治 14:45～15:25 (40分)

### 第4部 特別講演

『食の生命 人の命』 その2 赤峰勝人 15:25～16:05 (40分)

### 第5部 最終講演

『樹と人に無駄な年輪はなかった』 伊藤好則 16:05～17:05 (60分)

・閉会の辞 衛藤公治

・一本締め 杉本徳仁

◎後片付けが、終わりましたら、直会(なおらい)を行います。元気を来年のセミナーまで持ちましょう。日本人は、100歳まで生きられるのです。人寿100に留まるが日本人の教えです。二次会参加希望の方は、昨夜と同じ、『魚や』です。宜しくお願い致します。